



平成26年 9月●日発行 No.13



日本小児歯科学会近畿地方会会長に就任して

日本小児歯科学会近畿地方会会長

佐伯 克彦

この度、日本小児歯科学会近畿地方会会長を務めることになりました。めまぐるしく変化する昨今、樂木前会長が2年間ご努力されていたのを身近で見てきた私には身の引き締まる思いです。皆様方にお助け願いながら会員の方々、さらに患者様のための地方会となれますよう頑張っている所存です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

皆様方の長年のご努力で、う蝕は激減の傾向にあります。それにより子供達の成長発育に寄り添い助言を行う時間が生まれ、保護者のニーズとしても「従来のむし歯治療」以上のことが求められるようになってきました。前会長の専門である障害を持たれた方、疾病のある方にも、小児歯科医院、医療センター、大学病院の連携で手厚く対応ができるようになり、小児歯科医がより求められる時代となっています。地方会としては、大会で多くの先生方に発表して頂くことにより、経験豊富な先生方と若手との交流が行われ、互いに触発されながら技術を磨く場を提供することで、より多くの小児歯科医が活躍の場を得ることができるよう尽力していきたいと考えております。

また、この度長らく地方会を支えて下さっている仲野和彦先生が大阪大学大学院歯学研究科 口腔科学専攻口腔分子感染制御学講座 小児歯科学教室 教授に就任されました。近畿地方会としても、大阪歯科大学 有田憲司教授と共に2人の力強い支えを得ることになり、より一層の発展を目指せると思います。

そして今年是有田憲司教授を大会長に、有田教室として最初の地方会大会、第33回日本小児歯科学会近畿地方会大会が10月5日（日）大阪歯科大学天満橋学舎にて開催されます。興味深い講演と多数の発表、大勢の皆様との交流……様々な刺激が皆様の小児歯科医としての心を揺さぶり、熱と活気の溢れる大会となることを楽しみにしております。



22世紀に輝く小児歯科を目指して

大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室

仲野 和彦

近畿地方会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、平成26年8月1日付で、大嶋 隆先生の後任として、大阪大学大学院歯学研究科口腔科学専攻口腔分子感染制御学講座小児歯科学教室を担当させていただくことになりました。この場をお借りいたしまして、ご挨拶申し上げます。

私は、平成8年に大阪大学歯学部を卒業後、初代教授の祖父江鎮雄先生の主宰されていた小児歯科学講座に研修医として入局させていただきました。その後、医員として小児歯科臨床に携わるとともに、感染性心内膜炎患者血液より分離された *Streptococcus mutans* の解析というテーマの基礎研究にも従事してきました。そして、第二代教授の大嶋 隆先生のご指導のもと、平成14年に論文博士を取得させていただきました。平成15年には助手に採用されるとともに小児歯科外来医長を命じられ、その後10年ほど診療現場の最前面に立ち、年間延べ約1万人の来院患者さんの様々なニーズに対応できるような診療室の体制を作り上げてきました。また、平成15年頃からは大学院生の研究指導も担当させていただき、口腔細菌が全身に及ぼす影響に関する様々なテーマで8名の学位取得に関わってきました。

当教室の歴史に関する記述によりますと、昭和46年頃に現在の教室の芽が形作られ、昭和50年に診療科に昇格し、翌年には小児歯科学講座が開講したとあります。私は昭和46年生まれですので、まさにその頃にこの小児歯科学教室が形作られ始めていたことを感慨深く感じます。この40年あまりの教室の歴史は伝統として形作られていますが、今後教室を任された私自身の若さを不安に思われることもあるかもしれません。しかし、これまで教室を築いてこられた先輩方にご助言をいただき、また後輩たちからのサポートを受けながら、若さを新鮮なエネルギーに替えて新しい教室を創っていきたいと考えています。特に、大学の小児歯科の使命である臨床・研究・教育の全ての面を意識しながら、日々地道な努力を積み重ねていきたいと思っております。

臨床面においては、まず歯学部附属病院の小児歯科における原点である口唇口蓋裂児への齲蝕予防に対する取り組みを強化し、斬新なアプローチの確立を模索したいと考えています。さらに、多数ご紹介いただく診療に対する非協力児や全身疾患を有する小児に対して、安心・安全を第一によりよい歯科医療を提供できるようにスタッフ一同研鑽していきたく思います。また、昨年度より「カスタムメイドな一貫治療体制の構築」をキャッチフレーズに、埋伏歯や先天欠損の症例などで診療科横断的なアプローチの導入に取り組んでいます。今後、このようなアプローチをより多くの症例に適用し、各診療科とのコラボレーション体制のさらなる拡大に努めていきたいと考えています。

研究面では、自分自身のテーマである「口腔細菌の及ぼす全身疾患に関する研究」を発展させ

るとともに、得られた成果の臨床応用を目指したトランスレーショナルリサーチに積極的に取り組んでいきたいと考えています。また、本学医学系研究科小児科学の先生方とこれまで行ってきた「骨系統疾患患児における歯科所見とその対応」や「歯周病と早期低体重児出産」などの研究テーマを発展させていきたいと思ひます。さらに、小児歯科領域の研究テーマは多岐にわたりますので、これまで取り組んでいなかった新たな研究テーマについても、各専門分野の先生方にご教示いただきながら、少しずつ開拓していきたく思ひています。

教育面では、ここ数年、学部学生には小児歯科学の魅力と小児歯科医としてのやりがいを十分に伝えられるような教育を目指して内容を改変してきました。これは、近年小児歯科医を志す学生が全国的に減少していることへの対策でもあります。幸いにも、小児歯科医を志す人が少しずつ増加してきましたので、今後もさらに努力していきたく思ひています。また、大学院生に対しては、サイエンスと臨床の融合教育を行うことで科学的思考を持った小児歯科医を多数養成していきたいと考えています。また、研究者として必要な英語力を身につけられるような環境作りを進めており、まずは国際学会で発表することを第一目標に指導を行っています。今後、あらゆる研究成果を堂々と世界に発信していくことができる人材の育成に努めたく思ひています。

大阪大学には、平野総長が常に口にされる「22世紀に輝く」というキャッチフレーズがあります。22世紀に輝く小児歯科を実現するために、臨床・研究・教育においてグローバルな視点で考え、1つひとつの課題を素早く実行に移すということが大切ではないかと思ひます。22世紀は随分先のように感じられますが、22世紀に輝く小児歯科を実現するためには、これからの10年もしくは20年のうちに、後世に遺していく数多くの財産を創造することが重要だと考えています。そのためには、様々なバックグラウンドを持つ人たちとの連携を模索するとともに、教室内で多くの人財を育成し強固なチームを構築して取り組んでいかなければならないと思ひます。微力ではございますが、「22世紀に輝く小児歯科」の実現を念頭に全力を尽くす所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

略 歴

1996年 3月	大阪大学歯学部卒業
1996年 4月	大阪大学歯学部附属病院研修医（小児歯科）
1997年 4月	大阪大学歯学部附属病院医員（小児歯科）
2002年11月	大阪大学博士（歯学）
2003年12月	大阪大学歯学部附属病院小児歯科助手
2007年 5月	大阪大学歯学部附属病院小児歯科講師
2011年10月	大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室准教授
2014年 8月	大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室教授
	現在に至る

第32回日本小児歯科学会近畿地方会大会および総会 報告

平成25年9月29日（日）第32回日本小児歯科学会近畿地方会大会は奈良県歯科医師会館で開催されました。

参加者は520名を超え、ポスター発表は、全27題、専門医認定医更新発表が2題、認定歯科衛生士発表が4題出されました。

大会テーマは「小児歯科はパラダイムシフト」と題して、これまでの治療・予防から趣を変えて時間軸を考慮した予測性のある小児歯科を提案するものでした。

特別講演（教養講演）には有田憲司・大阪歯科大学小児歯科学講座教授の「子ども理解のパラダイムシフト」と題して、子どもはいつ発見されたのか、子どもとはどのようなものなのかを解説していただきました。教育講演には新谷誠康・東京歯科大学小児歯科学講座教授の「エナメル質形成不全の実態とその治療」。シンポジウムは「下顎後退位シンドロームを考える」と題して、最近よく取り上げられる下顎後退位の子供に起こる不都合とその対処法について井上裕子先生（大阪府池田市開業）、金尾好章先生（和歌山県和歌山市開業）そして伊藤雅夫先生（兵庫県西宮市開業）を講師に招き、それぞれの分野で発言をいただき、活発な議論がなされました。

コ・デンタルセミナーとして仲井雪絵先生・岡山大学小児歯科学講座に「マイナス1歳からはじめるむし歯予防 キシリトールの活用による口腔保健へのアプローチ」と題して講演をいただき時間を大幅に超える熱演でした。コ・デンタルのための勉強会には「フッ化物洗口について」（ビーブランド）「離乳食について」（キューピー）「おもちゃについて」（ポーネランド）と各企業から講師を招いて講演していただき終日満席の状況でした。

いずれの講演も、一般歯科の先生や若い小児歯科医そして歯科関連の学生にとっても、明日からすぐ臨床に役立つことのできる内容で貴重な指針になるものと考えました。

この大会にご参加くださいました先生方、スタッフの皆さまに御礼申し上げます。

大会長 池尾元三郎 実行委員長 林 昌司 準備委員長 伊藤美智代

第33回日本小児歯科学会近畿地方会大会及び総会

日 時：平成26年10月5日（日）

場 所：大阪歯科大学創立100周年記念館

〒540-0008 大阪府中央区大手前1丁目5-17

（大阪市営地下鉄谷町線、京阪電車 天満橋駅下車徒歩5分）

大 会 長：有田憲司

準備委員長：原田京子

大会事務局：〒540-0008 大阪府中央区大手前1丁目5-17 大阪歯科大学小児歯科学講座内

Tel：06-6910-1515

E-mail：33chihoukai@cc.osaka-dent.ac.jp

参 加 費：歯科医師 5,000円、歯科衛生士・その他 3,000円

懇親会 3,000円（大阪歯科大学附属病院14階 プラザ・フォーティーン）

併 催：平成26年10月4日（土）

一般社団法人 日本小児歯科学会主催

平成26年度 第1回 専門医・認定医合同セミナー

テーマ： 『未来のためにリスタート』

内 容：

(1) 平成26年度総会・写真撮影

(2) 特別講演 「子供と母親のセロトニン欠乏脳をめぐって」

講師：有田 秀穂先生（東邦大学名誉教授、セロトニンDojo代表）

(3) 教育講演 「ICDASを取り入れた新しいカリエスマネジメント」

講師：杉山 精一先生

（日本ヘルスケア歯科学会代表、千葉県八千代市開業）

(4) 認定歯科衛生士セミナー

世界一聞きたい歯科衛生士のための授業「泣きの予防も予防の一つ」

講師：岡崎 好秀先生

（モンゴル健康科学大学客員教授・前岡山大学病院小児歯科講師）

(5) 一般発表（展示発表）

(6) 専門医・認定医更新発表（展示発表）

(7) 業者展示

(8) 託児所設置（要・事前予約）

平成25年度 一般社団法人 日本小児歯科学会近畿地方会 会計報告

一般会計

収 入		
本学会からの援助金	¥	833,500
第31回近畿地方会大会 援助金残金	¥	0
預金利息	¥	42
合 計①	¥	833,542

支 出		
通信会議費	¥	52,384
第32回近畿地方会大会 援助金+振込手数料	¥	500,420
ニュースレター12号経費 +振込手数料	¥	173,250
第33回近畿地方会大会 準備金+振込手数料	¥	107,488
合 計②	¥	833,542

合計①－合計② ¥ 0

通信会議費 詳細		
会議費	¥	9,649
事務費	¥	42,735
合 計	¥	52,384

特別会計

収 入		
普通預金	¥	1,381,719
スーパー定期	¥	500,000
預金利息	¥	390
合 計	¥	1,882,109

支 出 な し ¥ 0

繰 越		
普通預金	¥	1,381,109
スーパー定期	¥	500,000
合 計	¥	1,882,109

平成26年度 一般社団法人 日本小児歯科学会近畿地方会 予算（案）

一般会計

収 入		
本学会からの援助金	¥	830,000
第32回近畿地方会大会 援助金残金	¥	0
預金利息	¥	50
合 計	¥	830,050
支 出		
通信会議費	¥	50,000
第33回近畿地方会大会 援助金	¥	500,000
ニュースレター13号経費	¥	200,000
第34回近畿地方会大会 準備金	¥	80,050
合 計	¥	830,050

特別会計

収 入		
普通預金	¥	1,382,109
スーパー定期	¥	500,000
預金利息	¥	400
合 計	¥	1,882,509
支 出		
な し	¥	0

*残金は来年度へ繰り越し

近畿地方会県別会員数（H26年8月現在）

	会 員	認定医	専門医	専門指導医	認定歯科衛生士
滋 賀 県	38	2	10	1	1
京 都 府	66	2	13	1	3
大 阪 府	336	12	91	16	19
兵 庫 県	165	4	45	2	5
奈 良 県	34	3	7	0	3
和 歌 山 県	18	0	4	0	0
合 計	657	23	170	20	31

平成26年度 こども健康週間県別代表者

府 県 名	代表者名
大 阪 府	梶本祐一郎 先生
兵 庫 県	春木 隆伸 先生
京 都 府	笹井 浩司 先生
奈 良 県	仲川 憲幸 先生
和 歌 山 県	金尾 好章 先生
滋 賀 県	池本 博之 先生

平成26年度 日本小児歯科学会地方会のご案内

◆北日本地方会

第32回北日本地方会大会および総会

第32回日本小児歯科学会北日本地方会大会および総会を下記の要項にて開催いたします。

多数の会員の皆様にご参加いただけますように、ここにご案内申し上げます。

テーマ：「小児歯科におけるリスクマネジメント」

会期：平成26年10月18日（土）

会場：新潟県歯科医師会館

〒950-0982 新潟市中央区堀之内南3-8-13 TEL：025-283-3030 FAX：025-283-6692

大会内容：1) 教育講演

「大人の危機管理から見た小児歯科治療の安全性」

瀬尾 憲司先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科歯科麻酔学分野教授）

2) 特別講演

「小児歯科におけるリスクマネジメントの変遷」

白川 哲夫先生（日本大学歯学部小児歯科学講座教授）

3) 一般講演 口頭・展示発表

4) 専門医・認定医更新発表

5) 認定衛生士試験

※上記3) 4) 5) の演題申し込みは、平成25年6月頃に会員各位に演題募集要項を送付致しますので、それに沿ってお申し込みください。

6) 総会

7) 専門医・認定医セミナー

テーマ「乳幼児の口と歯の健診ガイド」

講師：丸山進一郎先生 田中 英一先生

8) 衛生士セミナー（参加費無料）：認定衛生士必須地方会セミナー

講師：筒井 陸先生（九州看護福祉大学口腔保健科専任講師）

9) ランチョンセミナー（昼食付）

駐車場100台（無料）、託児所

会員懇親会：平成26年10月18日（土）19：30～

新潟東映ホテル（会場からホテルまでは大型バスにて移動）

〒950-0901 新潟県新潟市中央区弁天2-1-6

TEL：025-244-7101 FAX：025-241-8485

大会事務局：新潟大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野

〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地

TEL：025-227-2912 FAX：025-227-2912

準備委員長：齋藤 一誠

◆関東地方会

第29回関東地方会大会および総会

メインテーマ：「未来をひらく子どもたちへ」

会 期：平成26年9月28日（日）午前8時30分開場、午前9時開会

会 場：大宮ソニックシティ

大 会 長：諸星 孝夫

副大会長：巢瀬 賢一

準備委員長：高橋 康男

大会内容：1. 特別講演

「子どもへの対応の原則」

平岩 幹男先生（国立成育医療研究センター理事）

2. 特別企画① こども大学「歯を守っておいしく食べよう！」

渡部 茂先生（明海大学歯学部形態機能成育学講座口腔小児科学分野教授）

3. 特別企画② 「学生実習の現状」

関東9歯科大学によるポスター発表

4. 臨床講義

「口唇裂・口蓋裂と歯科矯正」

真野 樹子先生（明海大学歯学部形態機能成育学講座歯科矯正学分野講師）

「再石灰化療法におけるQLFの応用」

稲葉 大輔先生（岩手医科大学歯学部口腔医学講座予防歯科学分野准教授）

「口腔領域における小手術の実際」

野村 武史先生（東京歯科大学千葉病院口腔外科准教授）

5. 歯科衛生士セミナー

「思春期に見られる問題点と生活の実態（仮題）」

田中 大介先生（昭和大学大学院保健医療学研究科昭和大学江東豊洲病院小児内科准教授）

秋山 邦久先生（越谷心理支援センター所長）

6. ランチョンセミナー

「フッ化物製剤のプロフェッショナルな利用」

荒川 浩久先生（神奈川歯科大学口腔衛生学講座教授）

「齲蝕予防の新しい考え方 ～明確な目標をもったアプローチとは～」

福本 敏先生（東北大学大学院歯学研究科口腔保健発育講座小児発達歯科学分野教授）

7. ポスター発表

1) 一般演題発表

2) 専門医・認定医資格更新用プレゼンテーション

3) 認定歯科衛生士資格申請用プレゼンテーション

連絡先：第29回日本小児歯科学会関東地方会大会準備委員会

委員長：高橋 康男（たかはし やすお）

〒339-8551 埼玉県さいたま市岩槻区大字馬込2100番地

E-mail：jspd.kantoh@gmail.com

FAX：048-758-1818

（電話によるお問い合わせはご遠慮ください）

◆中部地方会

第33回中部地方会大会および総会

テーマ：「小児歯科医療とスペシャルニーズ」

会期：平成26年10月26日（日）9：00～16：30

会場：愛知学院大学楠元キャンパス110周年記念講堂
〒464-8650 愛知県名古屋市千種区楠元町1-100

大会長：福田 理

準備委員長：渥美 信子

大会内容：1. 特別講演Ⅰ：食べる機能の発達とその支援

弘中 祥司先生（昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門教授）

2. 特別講演Ⅱ：先天性心疾患を持つ子どもへの対応

加納 欣徳先生（あいち小児保健医療総合センター歯科口腔外科部長）

3. 教育講演：ことばの発達と構音障害

伊藤美知恵先生（愛知淑徳大学健康医療科学部医療貢献学科言語聴覚学専攻教授）

4. 歯科衛生士セミナー（地方会開催・認定歯科衛生士認定更新必須研修セミナー）

シンポジウム「障害児の歯科保健支援－その特性と環境を考慮して－」

1) 発達障がい児の歯科保健と家族支援

溝口理知子先生（豊田市こども発達センター管理担当・

のぞみ診療所副主幹（兼）のぞみ診療所副所長）

2) 重症心身障害児入所施設での歯科保健の意義

山内香代子先生（社会福祉法人恩賜財団済生会支部愛知県済生会愛知県青い鳥医療福祉センター診療部歯科科長補佐）

3) 口腔を通してできる在宅支援

栗木みゆき先生（多治見口腔ケアグループはねっと代表）

5. ポスター発表

1) 一般演題発表

2) 専門医・認定医資格更新ケースプレゼンテーション

6. 総会

7. 商業展示

8. 懇親会 平成26年10月25日（土）18：15～

〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵3-16-16 メルパルク名古屋

TEL：052-937-3535

連絡先：〒464-8651 愛知県名古屋市千種区末盛通2-11

愛知学院大学歯学部小児歯科学講座内

第33回日本小児歯科学会中部地方会大会事務局 準備委員長：渥美 信子

TEL：052-759-2164 FAX：052-752-5828

E-mail：chubu33@dpc.agu.ac.jp

◆中四国地方会

第33回中四国地方会大会および総会

テーマ：「すくすく育つ健口生活～現代の子どもの睡眠、呼吸、食事～」

会期：平成26年11月2日（日）

会場：松山市総合コミュニティセンター

〒790-0012 愛媛県松山市湊町7丁目5番地

TEL：089-921-8222 FAX：089-931-3304

大会長：野本 知佐（ちあーず歯科・小児歯科）

準備委員長：道田 満代（みちだ矯正小児歯科）

大会内容：1）特別講演

1. 「小児の睡眠呼吸障害」（仮題）

岡 靖哲先生（愛媛大学睡眠医療センター所長）

2. 「気道通気障害が小児期の顎咬合関係に及ぼす影響」

山崎 要一先生（鹿児島大学小児歯科学分野教授）

2）教育講演

1. 「口の機能は3歳までが勝負！」

金 俊熙先生（きむ矯正歯科、松山市）

2. 「睡眠態癖などが歯列に与える影響について」（仮題）

小川 晴也先生（小川矯正歯科、福山市）

3. 「こどもの食物アレルギー 歯科周辺薬剤を含めた原因食品と、症状・対処法」

福岡 圭介先生（福岡小児科・アレルギー科）

3）コ・デンタルセミナー：「小児の食育について」（仮題）

岡崎 好秀先生（モンゴル健康科学大学客員教授）

4）ランチョンセミナー：「う蝕予防の新しい考え方～明確な目標を持ったアプローチとは～」

福本 敏先生（東北大学大学院歯学研究科・歯学部小児発達歯科学分野教授）

5）一般発表：展示発表のみ

6）専門医・認定医更新展示発表

7）商業展示

連絡先：第33回中四国地方会事務局

〒791-2116 愛媛県伊予郡砥部町原町325-37

ちあーず歯科・小児歯科内 野本 知佐

TEL/FAX：089-962-1817 E-mail：tyusikokujspd@yahoo.co.jp

◆九州地方会

第32回九州地方会大会および総会

テーマ：「夢のある小児歯科を目指して～九州地方会からの発信～」

会期：平成26年11月23日（日）

会場：九州歯科大学

大会長：牧 憲司

準備委員長：西田 郁子

大会内容：1. 特別講演：

- 1) 小児歯科そして成育歯科医療へ
居波 徹先生（いなみ矯正歯科）
- 2) 口呼吸と咬合育成との関係について
山口 和憲先生（九州歯科大学名誉教授）

2. 教育講演：

- 予防学的視点に立った咬合の成育
大野 秀夫先生（おおの小児矯正歯科）

3. ランチョンセミナー：

- う蝕予防の新しい考え方～明確な目標を持ったアプローチとは～
福本 敏先生（東北大学大学院歯学研究科・小児発達歯学教授）

4. シンポジウム

「小児歯科の先輩から後輩へのメッセージ
～地域における子どもたちの健康づくりへのサポート～」

コーディネーター：品川 光春先生（しながわ小児歯科医院）

「小児歯科の先輩から後輩へのメッセージの企画について」

- 1) う蝕の洪水時代からの小児歯科診療を経験して
中尾 哲之先生（なかお小児歯科）
 - 2) 小児歯科としての障害児の歯科管理
毛利 元治先生（もうり小児歯科）
 - 3) 歯列咬合の機能と形態の発達の支援を目指して
有田 信一先生（ありた小児矯正歯科）
 - 4) 歯科医院は、ホッとステーション
西本美恵子先生（にしもと小児歯科医院）
 - 5) 診療室外での予防活動～フッ化物の応用を中心として～
柏木伸一郎先生（小児歯科柏木医院）
5. テーブルディスカッション（機能的視点に立った咬合誘導）
- 1) 発育期の矯正治療にできること
黒江 和斗先生（矯正歯科くろえクリニック）
 - 2) 哺乳・離乳からの咬合育成
金 俊熙先生（医無窮会 きむ矯正歯科クリニック）
6. 衛生士セミナー
- 楽しい歯科診療を行う支援ツール“絵本”の利用法
- 1) 絵本開発の経緯と絵本を利用した歯科診療の客観的評価
大野 陽真先生（医おおの小児矯正歯科）
 - 2) 絵本の作り方と健常児への活用
田中 克明先生（田中こども歯科医院）
 - 3) 絵本の軽度障がい児（者）への応用
杉岡 千津先生（医おおの小児矯正歯科）
 - 4) 絵本の大人への活用
三隅 純一先生（みすみ歯科医院）

7. ポスター発表

1) 一般演題発表

2) 専門医・認定医専門医更新用ケースプレゼンテーション

3) 認定歯科衛生士試験ポスター発表

会 費：歯科医師 5,000円 歯科衛生士・その他 2,000円

懇 親 会：九州歯科大学講堂1階（会費 3,000円）

連 絡 先：第32回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備委員会事務局

〒803-8580 北九州市小倉北区真鶴2丁目6-1

九州歯科大学口腔機能発達学分野内

準備委員長：西田 郁子

TEL：093-582-1131（内線1904、1906） FAX：093-583-5383

E-mail：nishida@kyu-dent.ac.jp

《日本小児歯科学会近畿地方会》

平成26・27年度役員名簿

会 長	佐伯 克彦
副 会 長	有田 憲司 ・ 仲野 和彦
会 計	野村 良太 ・ 佐々木秀和
庶 務	春木 隆伸 ・ 岡本 篤剛
監 事	樂木 正実 ・ 松尾 博之
顧 問	嘉ノ海龍三 ・ 梶本祐一郎
歯科衛生士会	永井るみこ
大 学	原田 京子 ・ 園本 美恵 ・ 人見さよ子 ・ 大川 玲奈
滋 賀 県	池本 博之 ・ 中林あつ子
京 都 府	大原 裕 ・ 笹井 浩司 ・ 中村 弘之 ・ 仲岡 佳彦
奈 良 県	池尾元三朗 ・ 中川 佳昭 ・ 林 昌司
和歌山県	金尾 好章 ・ 田岡 郁敏
大 阪 府	吾妻 昭夫 ・ 野々村栄二 ・ 大橋 健治 ・ 大西 智之 ・ 大道 士郎 川口 護 ・ 乗原 康生 ・ 副島 之彦 ・ 中原 弘美 ・ 淺田 匡彦
兵 庫 県	石井 信行 ・ 金澤 真亨 ・ 亀井有太郎 ・ 曾根由美子 ・ 竹内 幸雄 徳永順一郎
名誉会員	祖父江鎮雄 ・ 大嶋 隆 ・ 嘉藤 幹夫 (順不同)

●編集後記

近畿地方会会報も早いもので今回が第13号です。第1号が発行されたのが2002年ですから、もう12年前になります。その頃の私と言えば、まだまだ小児歯科医としても未熟で、臨床の現場でも学会関連の仕事でも、諸先輩の先生方に大変お世話になっていたことを思い出します。そんな未熟で若いと思っていた私ですが、気が付けば同級生から教授が二人誕生し、この度は同世代の仲野先生が阪大小児歯科の教授に就任されるなど、若いと思っていた自分がそんな世代になっていたことに驚くと共に、自分の不甲斐なさを痛感しました。もう若いといって許される世代ではなくなっていたのですね。仲野先生をはじめ、同世代で活躍されている先生方を見習って、自分の果すべき役割を自覚する必要があるようです。まだまだ若手と思っていたのは自分だけだったのかもしれない。反省。(石井 信行)

今回、会報発行にお手伝い頂いた方々

(敬称略)

<お知らせ>

住所、氏名変更は地方会事務局では取り扱っておりません。

必ず口腔保健協会 (〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 TEL:03-3947-8891代) へお願いします。

日本小児歯科学会近畿地方会 HP

<http://square.umin.ac.jp/jspd/>

平成26年9月●日 印刷

平成26年9月●日 発行

発行者 一般社団法人 日本小児歯科学会近畿地方会
会報編集委員会

印刷所 日昌印刷(株)